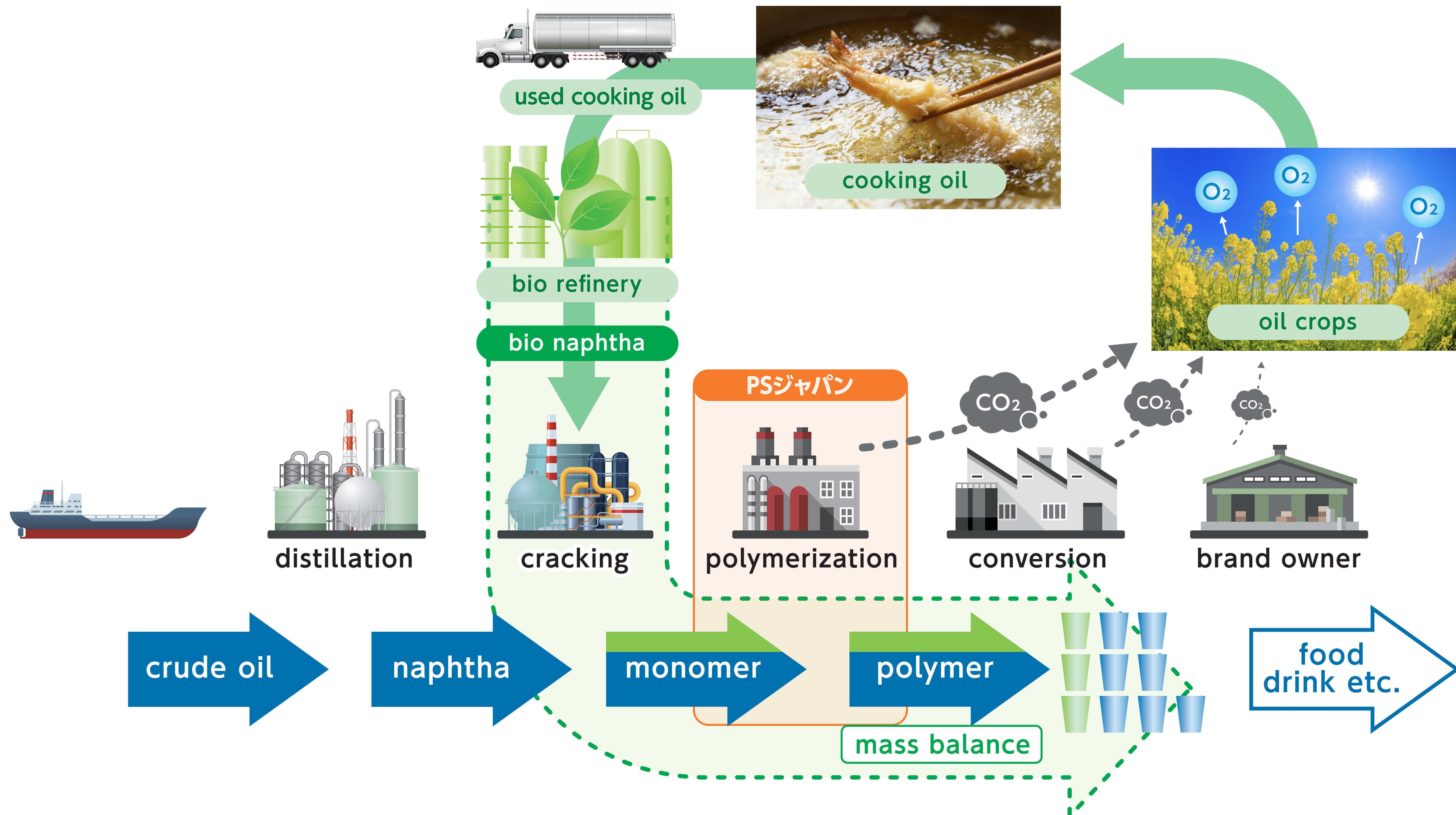


バイオマスポリスチレンー1

二酸化炭素を吸収する**植物由来**のバイオマスナフサが粗原料なので
従来型PSに比べて**地球温暖化ガスの排出量が少ない**



バイオマスポリスチレンー2

概要

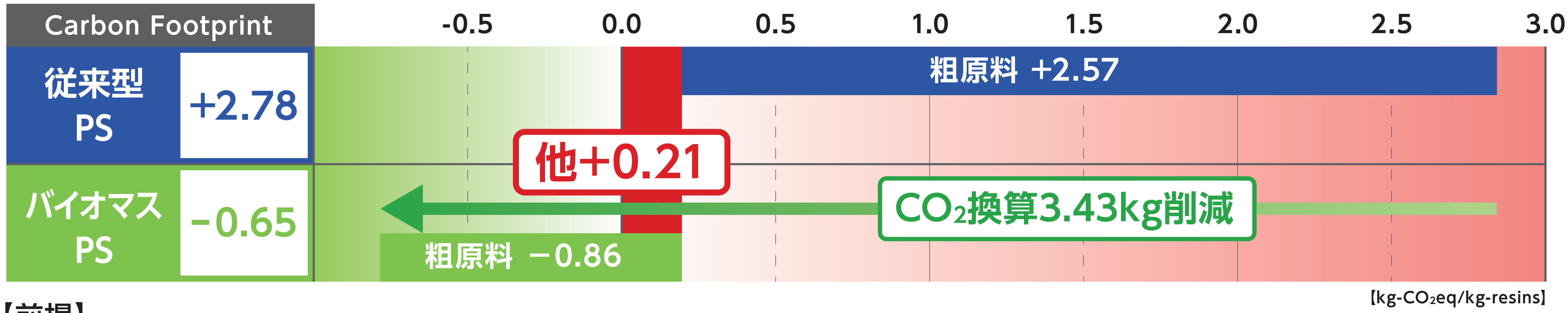
マスバランス方式のバイオマスポリスチレン

特徴

- 従来銘柄のままバイオマス化で切替評価不要
- 最終製品に**エコマーク**の表示が可能(要申請)
- CO₂の排出削減**で地球温暖化の抑制に貢献



カーボンフットプリント(Cradle to Gate・千葉工場GPPS)



【前提】

- (国研)産業技術総合研究所、(一社)サステナブル経営推進機構 LCAデータベース[IDEA]Ver.2.3
- バイオマス原料が成長時に吸収したCO₂量を控除する形で CFPを算出
- ペレットの輸送は仮に10t車100%積載率、距離200kmで算出

算定範囲	Cradle to Gateで該当する内容	
Scope 1	■	事業者自らのGHG排出
Scope 2	■	他社から供給された電気・蒸気使用に伴う間接排出
Scope 3		事業者の活動に関連する他社の排出
Category 1	■ ■	購入した製品=粗原料(採掘・採取からモノマー化まで)
Category 3	■	Scope 1・2に含まれない燃料及びエネルギー活動
Category 4	■	上流の輸送・配送、下流の輸送・配送(事業者が荷主の場合)
Category 5	■	事業から発生する廃棄物

バイオマスポリスチレンー3

概要

マスバランス方式の考え方

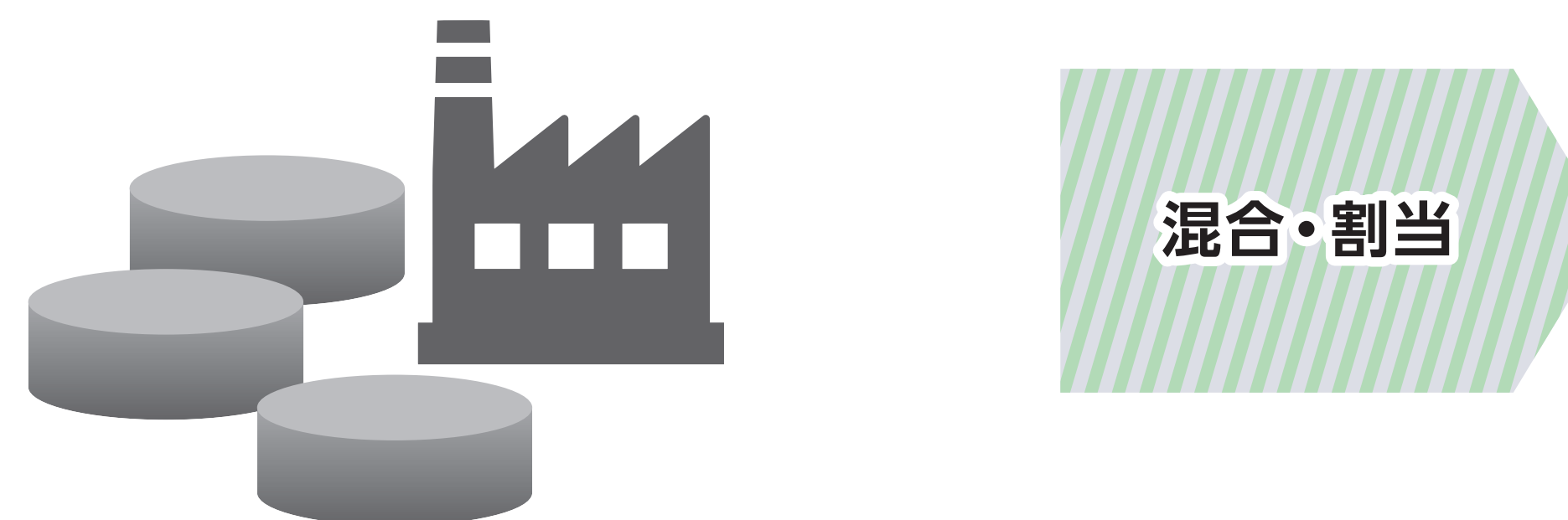
原料

バイオマス原料を投入



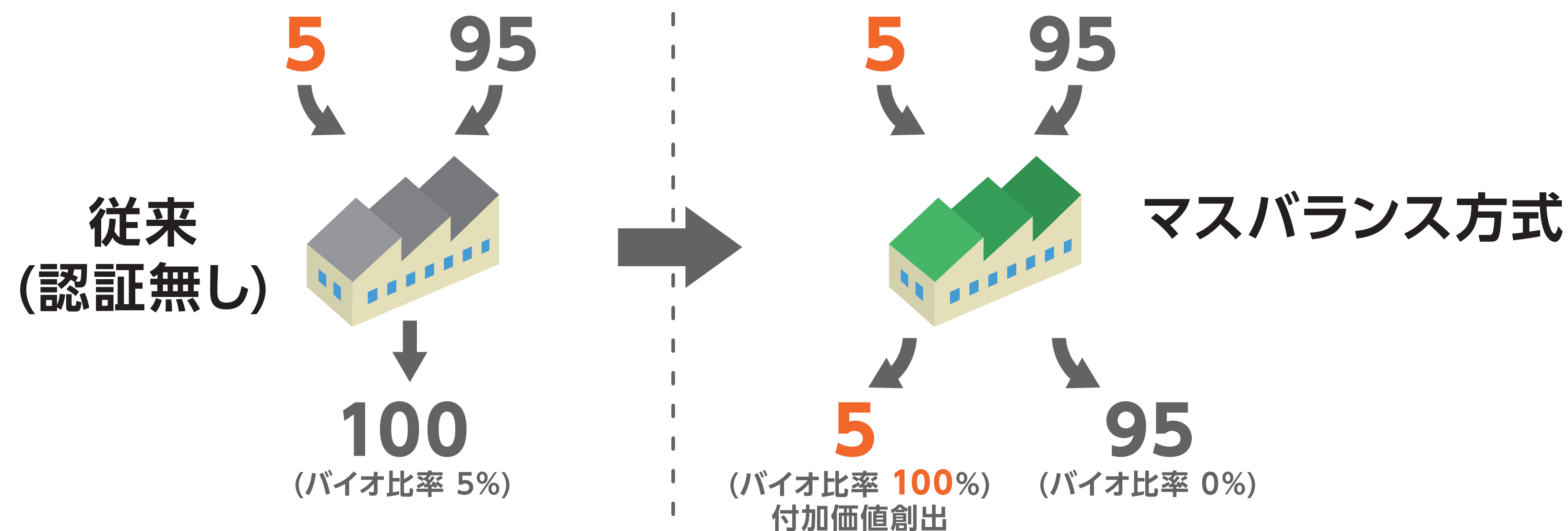
製造プロセス

既存の生産システムを活用



製品

バイオマス原料相当分を割当



出展：旭化成ウェブサイト、Web Magazine OPENERS

粗原料から容器・袋の最終加工チェーンまでISCC PLUS認証が必要です